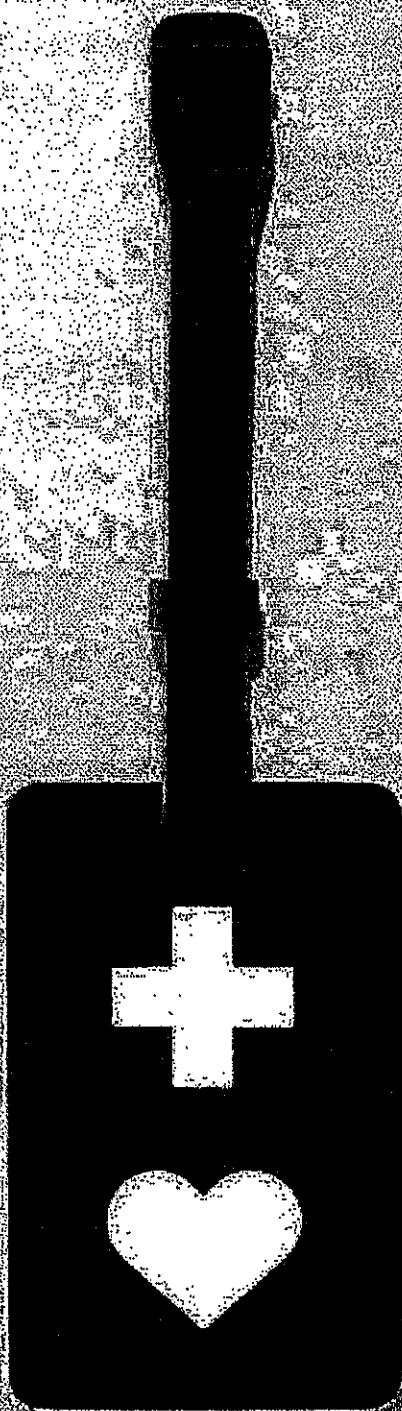


ヘルプマークを知っていますか？

援助が必要な方のためのマークです。



外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。

このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、

困っているようであれば声をかける等、

思いやりのある行動をお願いします。

配慮を必要としている方のための 「ヘルプマーク」の普及に取り組んでいます。

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からずの方がいます。こうした方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう、「ヘルプマーク」を作成し、普及に取り組んでいます。

電車・バスの中で、席をお譲りください。

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からぬいため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。

駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。
交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

視覚や聴覚に障害があり、状況把握が難しい方、肢体に障害があり、自力での迅速な避難が困難な方など様々な方がいます。

このマークの配布先等の詳細については、

<http://www.pref.kyoto.jp/shogaishien/helpmark.html> を御覧ください。

(問い合わせ先) 京都府健康福祉部障害者支援課

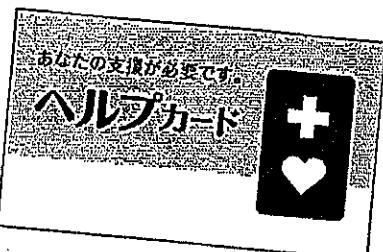
電話 075-414-4598

FAX 075-414-4597

メール shogaishien@pref.kyoto.lg.jp

知っていますか? 「ヘルプカード」

知的障害、群癡障害や内部障害など、さまざまな障害のある人たちが、日常生活や緊急時に支援を求める手段として活用される「ヘルプカード」。東京都内では現在、9区3市10団体のそれぞれがカードを作成しています。東京都ではヘルプカードのさらなる活用と認知度の向上を目指し、都内で統一的に活用できるようにデザインや形態などの標準様式を定めました。



東京都は「ヘルプカード」の標準様式を定めました

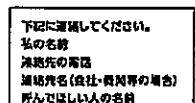
これまで区町村や団体で独自にヘルプカードを作成していましたが、自治体ごとに格式があり、なかなか規格が統一にくい状況がありました。そこで、東京都では、ヘルプカードの認知度を高め、都内での統一的に活用できるように標準様式を定めました。カードをどのように作成し、配布するかなどに於いては実際は区町村が決めることになります。

サイズ:通常用紙サイズ 文字体や色も統一



表裏:①ヘルプマーク
②「あなたの支援が必要です」
③「ヘルプカード」(文字)

メリット1
区町村の作成する「ヘルプカード」を
統一的に做及
東京都が標準



例文:例としてて名、出生年月日、性別、
病名や特徴、血型、年齢、連絡先、連絡先の(会社・両親等の場合)
呼んでほしい人の名前

例文:例としてて名、出生年月日、性別、
病名や特徴、血型、年齢、連絡先、連絡先の(会社・両親等の場合)
呼んでほしい人の名前

メリット2
ヘルプマークと一緒に做及
東京都が標準としているデザイン
東京都が標準としているデザイン
東京都が標準としているデザイン

「ヘルプカード」は、こんなときに役に立ちます

災害のとき…

災害が発生したとき
災害に伴う避難生活が必要なとき



緊急のとき…

道に迷ってしまったとき
パニックや発作、
落気のとき

日常的に…
ちょっとした手助けが
ほしいとき

今後考えられる主な運用場面
人が迷ったときに迷子になったり、落車時
本人が迷ったときに迷子にならなければ
ならないや日常生活で手助けが必要なとき

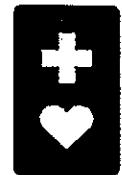
人が迷ったときに迷子になったり、落車時
本人が迷ったときに迷子にならなければ
ならないや日常生活で手助けが必要なとき

「ヘルプカード」の今後の展開について

現在はいろいろな形や名前でヘルプカードの設計を採りたすものが活用されていますが、障害のある人がより安心した生活を送るためにには、一人でも多くの人たちにヘルプカードを認識してもらうことが大切です。そのため、東京都ではまだヘルプカードを導入していない地域に取り入れてもらおうと駆け引きけるとともに、「都民向けリーフレット」「専門広告での告知」など、啓発のための活動を継続実施する予定です。

「ヘルプカード」は、誰が必要としている人のためのマークです

東京都が標準や人工認証を使用して
いる人の内郵便局や駅新規の人の
登録が必要です。例文:「あなたの支援
が必要です」(右側)「ヘルプカード」
(左側)を記入してください。お問い合わせ
は、東京都福祉保健局(03-5585-0370)
へお問い合わせください。



ホームページをよくください。
「ヘルプカード」については、
記載内容にそつて
手助けを求めるためのものです。
障害のある方が、「ヘルプカード」を
提示した場合は、

ヘルプカード 東京 標準
東京都福祉保健局

「ヘルプカード」については、
記載内容にそつて
手助けを求めるためのものです。
障害のある方が、「ヘルプカード」を
提示した場合は、

「ヘルプカード」とは、
障害のある方が困った時に
手助けを求めるためのものです。
障害のある方が、「ヘルプカード」を
提示した場合は、

あなたの支援が必要です
ヘルプカード



一緒に、
すけだち
いたそー。



あなたの支援が必要です
ヘルプカード



ヘルプカードとはどのようなカードですか?

例えば、知的障害のある人の中には、手助けが必要な人と手助けしない人を分けています。また、障害のある人に接するときには、それが何を意味しているかを心配する必要があります。そのため、自分がヘルプカードを持ったときに、他の人に安心感や信頼感を感じてもらえるように工夫しています。

災害のとき…

ヘルプカードの活用具体例 Q&A

災害のとき…

Q 安全な場所に避難しなくてはいけないときに、救援を待機していない人や、手助けを乞う人を見かけた場合はどうしたらいいですか?

A 落ち着けるように具体的にゆっくり話して状況を教えてください。緊急時には、とにかく安全の確保を優先してください。「ヘルプカード」を持っていて、緊急連絡先が分かる場合には連絡をお願いします。

Q 避難場所で迷ったときに、障害のある人が困っていたらどうすればいいですか?

A 「ヘルプカード」を持っているか聞いてみてください。持っていたら記載内容による配慮をお願いします。

例えは、通常と異なる環境で不安定になったり、大きな声や音、あるいは強い光が苦手な人もあります。見守った上で、落ち着けないときは静かなスペースを探してください。医療的に記述が必要な人、体温調整ができるない人、食事に制限のある人はさまざま特性がありますので、障害のある人のへの理解・配慮をお願いします。

日常的のとき…

Q パニックや冗談などを起こしている人を見かけたら?

A まず簡単に匂いを嗅ぎながらお話をかけてください。ヘルプカードを持っている人を見たら、そばに、パニックや発作、落気のときにはどうしてほしいかが書いてあります。周囲の人と協力して対応してください。

日常的のとき…

Q 何か困っているような人を見かけたら?

A 「何かお手伝いすることができますか?」と声をかけてください。そのまま「ヘルプカード」の表示があった場合は、書いてある手助けをしてください。

外見では障害があるのが分かりにくく、ちょっとした配慮が必要なときに困ることはあります。周囲の人と協力して対応してください。

企画・制作/東京新聞廣告局

東京都実施施策：ヘルプマークについて

東京都実施施策

【ヘルプマークとは】

援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマーク。

【対象者】

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方。ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いしている。

【普及啓発】

都営交通、ゆりかもめ、多摩モノレールの車両内等にポスターを掲示するなど、ヘルプマークの普及啓発に取組んでいる。また、多様な主体で作成・活用できるよう、作成・活用する際の要件を定めたガイドラインを作成した。

【実施方法】

- (1) 対象者からの申出により、下記の場所でヘルプマークを配布※郵送での対応なし。

都営地下鉄各駅（押上駅、目黒駅、白金台駅、白金高輪駅、新宿線新宿駅を除く）駅務室、都営バス各営業所、荒川電車営業所、日暮里・舎人ライナー（日暮里駅、西日暮里駅）駅務室、ゆりかもめ（新橋駅、豊洲駅）駅務室、多摩モノレール（多摩センター駅、中央大学駅、明星大学駅、高松不動駅、立川南駅、立川北駅、玉川上水駅、上北台駅）駅務室（一部時間帯を除く）、東京都心身障害者福祉センター（多摩支所を含む）

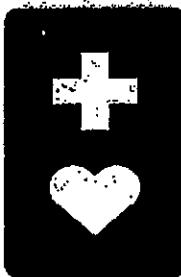
- (2) 車両内等の優先席にステッカーを提示。

実施路線：都営地下鉄（浅草線、三田線、新宿線、大江戸線）、都営バス、都電荒川線、日暮里・舎人ライナー、ゆりかもめ、多摩モノレール

- (3) 民間企業による広報活動や活用の推進。

平成26年7月から民間企業への働きかけを実施している。詳細は、企業・事業者向けホームページに掲載。

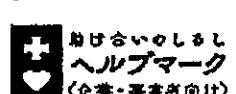
・ヘルプマーク



・ステッカー



・企業・事業者向け啓発ホームページのバナー



皆さんが各自の方のマークです。
貼りあわせください。

平成27年12月21日 関東管内パリアフリーネットワーク会議（国土交通省関東運輸局）

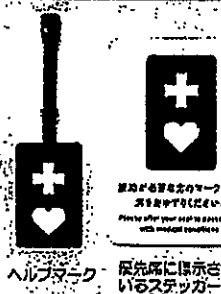
東京道筋支局が取り組むヘルプマーク及びヘルプカードの推進について（紹介）

東京道筋支局パリアフリーネットワーク会議中のご意見について

11月30日開催の東京道筋支局パリアフリーネットワーク会議において、交渉審議者の取組みとして東京電鉄バスの「パリアフリー化の概要および社会貢献の取組みについて」、日暮里・舎人ライナー担当者の「障害者における「ヘルプマーク」の周知と理解」等の教育を実施している旨と説明がありました。参考までに付いて、委員から「障害をお持ちの方が車椅子を必要とする際に有効に活用できるヘルプマーク及びヘルプカードは東京都で取り組んでいたが、川崎市高津区の近頃では知られていないことから全国広げて一元化を図るべき」という趣意が述べられました。

ヘルプマークとは

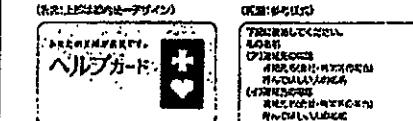
援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることが可能となるよう、東京都が作成しました。



ヘルプカードとは

障害のある人には、自分から「困った」となかなか伝えられない人がいます。支援が必要なのに、「コミュニケーションに障害があるってそのことを伝えられない人」、「困っていることそのものを自覚できない人」もいます。

緊急連絡先や必要な支援内容などが記載された「ヘルプカード」は、障害のある方が災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の状態への理解や支援を求めるためのものです。



どこで手に入るの
都内区市町村で配布
されています。

ヘルプカードがあると期待できること

1. ハンディアシストの利用
2. 支援者とつづての連絡
3. 併用コミュニケーション支援
4. 障害に対する理解の促進

ヘルプカードを持っている人を見かけた場合の対応

1. 「何か困っていることがありますか？」と直感的に口をきけるようにかける。
2. カードの裏面または中身を見て記載されている方法で支援する。
3. 「障害者コミュニケーション支援」
4. 「緊急連絡先のカード」「緊急の場合は連絡先」の記載あり。カードの内容は記載されている連絡先へ連絡する。

取組の背景

1 改正医療費基本法

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現

2 障害者差別解消法（平成28年4月施行）

障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現

3 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国内外から多くの人が東京を訪れる。障害のある方を始め、様々な理由で支援が必要な方も含まれることから、支援が必要な方への理解や互いに思いやりの心を認めることが求められる。

東京道筋支局が取り組むパリアフリーネットワーク会議の実績

- 支援ニーズを周囲に知らせることができる。
- 一人ひとりの具体的な支援方法を伝え、実際の支援行動を促すことができる。

障害のある人もない人も、全ての人が
お互いに尊重し、支えあいながら、
共に生活する社会の実現